



令和3年度

## 茨城県優良図書紹介（中学生向け）



### 『with you』 濱野京子 作（くもん出版）

中学3年生の悠人が夜のジョギング中、公園で出会った中学2年生の少女朱音は「ヤングケアラー」だった。それぞれが、家族や家庭内の問題に悩みながら毎日を過ごしていた。あなたには、本音を話せる人はいますか？



### 『サード・プレイス』

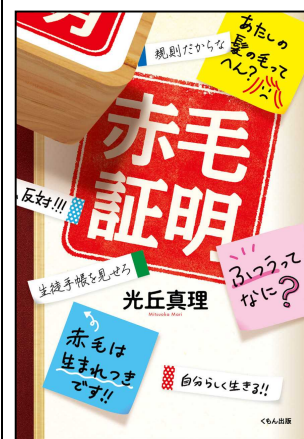
ささきあり 作、酒井以 絵（フレーベル館）

人と話すのが苦手、集団より独りがよい…中高生が利用できるサード・プレイス「サプリガーデン」は、悩んだり、迷ったりする子どもの大切な居場所。あなたが自分らしくいられる居場所も、どこかにはあるはず。



### 『団地のコトリ』 八束澄子 作（ポプラ社）

バレーボールに熱中する中学3年生の少女と、息をひそめるように暮らす女の子。団地に住む部屋の数だけ、いろいろな人の、いろいろな暮らしがある。あなたのそばに、助けを待っている人がいるかもしれない…。



## 『赤毛証明』 光丘真理 作（くもん出版）

生まれつき茶髪のめぐは、中学校に入学すると「赤毛証明」を生徒手帳に押されてしまう。それ以来「普通」とは何かを考えるようになるめぐ。恋と友情に揺れる思春期の少年少女の感動ストーリー。



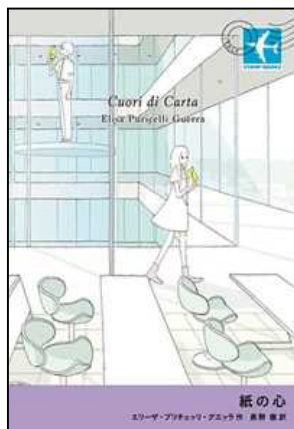
## 『イーブン』 村上しい子 作（小学館）

イーブンな関係って、どんな関係だろう。美桜里はお父さんやお母さんとイーブンな関係？お父さんとお母さんはイーブンな関係だった？お互いに心を開いて理解し合うことがスタートラインかな。



## 『メイドイン十四歳』 石川宏千花 著（講談社）

ナチュラルボーン優等生の藍堂は、ある日担任から転校生のお世話係をお願いされた。しかし、その転校生には意外な秘密が隠されていた。そして、この転校生をめぐってクラスで大問題が…。差別や偏見について深く考えさせる作品。



## 『紙の心』

エリーザ・プリチェッリ・グエッタ 作、長野徹 訳（岩波書店）

ある日、図書室の本に挟まれた手紙を見つけた少年は、顔も名前も年齢も分からない少女と手紙のやり取りを続けることで、互いに惹かれていく。二人は社会から隔離された場所で生活し、そこにはある秘密が隠されていて…。



## 『教室に並んだ背表紙』 相沢沙呼 著 (集英社)

どこにでもいる女の子が、日々の生活の中で悩み苦しみながら救いを求めている。そんな彼女たちにそっと救いの手を差し伸べてくれる一冊に出会えるかもしれない。あなたにお薦めの本はきっとある…。



## 『無限の中心で』 まはら三桃 著 (講談社)

文系女子の野崎とわは、友人美織の頼みでたまたま新聞部の助っ人となり数研部の取材に部室を訪ねると…。そこには、「木曜日のミステリー」が待ち受けていた。このミステリーの謎解きは果たしてどうなるのか…。



## 『白き花の姫王 ヴァジュラの剣』

みなと董 著 (講談社)

時は天平時代。父親が殺されるのを見て以来、言葉とその時の記憶を失ってしまった姫王。和歌にのせて気持ちを語る姫王の美しい心。天竺から日本へと、一本の剣が関わるおとぎ話。



## 『ハジメテヒラク』 こまつあやこ 著 (講談社)

脳内実況が趣味の主人公が「生け花」部に入部することになった！個性豊かな部員たちと「生け花」と「脳内実況」という意外な組み合わせが繰り広げる青春物語。